

飛躍する県立漁業高等学園による 漁業人材育成



令和元年6月17日
静岡県立漁業高等学園

県立漁業高等学園とは

- 焼津漁港にある県立の
全国唯一の高度漁業専門校
- 未来の船長、機関長の養成
 - ・昭和45年(1970年)に設置。**今年度50期**を迎えた。
 - ・**県内新規漁業就業者の約20%は学園卒業生**
- 定員30名 (本年度から定員増)
1年間の全寮制 中卒者から30歳まで入学可能
- 授業・実習の内容(実習が講義の半分以上!)
 - 座学** 大型漁船に必要な**海技士資格取得**のための学習
(航海術、気象、法規、内燃機関、電気など)
 - 実習** 現場で**即戦力となるための技術**の習得
(ロープワーク、漁具製作、実習船操船実習、航海実習など)



漁業人材確保のための課題と対応方針

課題

対応方針

①大型漁船に必要な海技士
(幹部漁船員) 不足



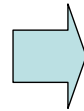
入学者と、資格試験
合格者の増加

②卒業生の早期離職



卒業後のケアを強化

③外国人を含む
一般漁船員確保



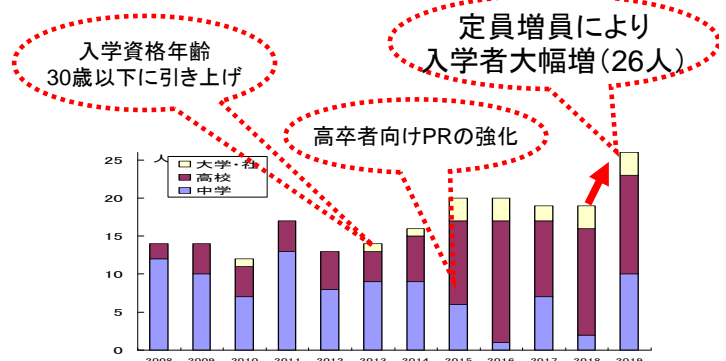
外国人材確保の支援

入学者数増に向けた対策

[① 入学定員増]

今年度から入学定員を
20人から30人に増員

今年度
入学者が大幅増 (26人)



[② 入試制度の見直しやPR強化]

・入学試験対策 自己推薦で意欲を評価する

→ A O 式入学試験の導入 (H30年度～)
(R 元年入学者の約半数を占める)

・ブログ、YouTubeで全国に発信
(ブログは園長が毎日更新)

→近年、ブログ訪問者数が急増

・入学者獲得のため県内外の高校
約80校を訪問

⇒ R 元年入学者の約半数は県外

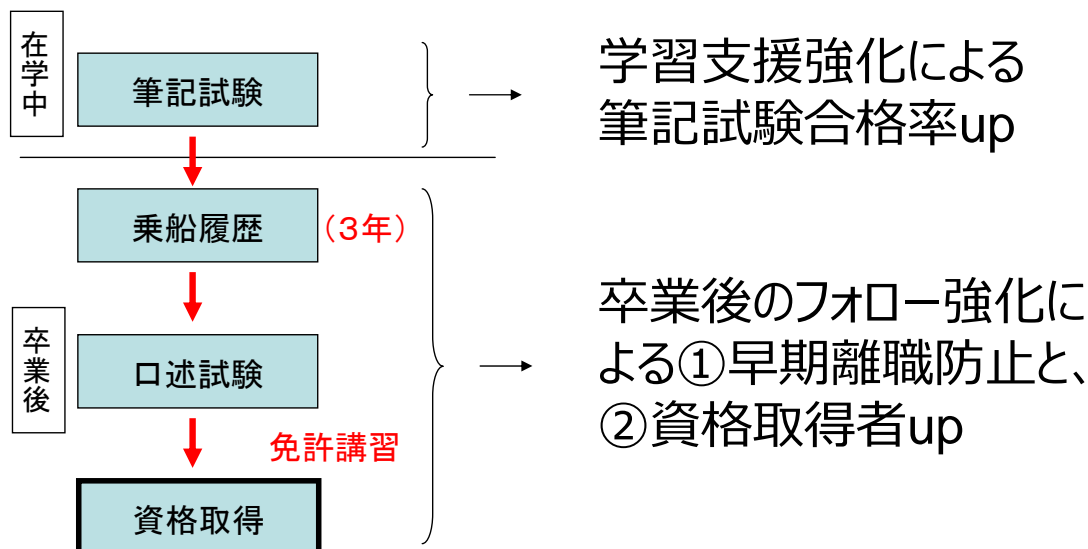


海技士資格取得者増に向けた新たな対策（全体像）

海技士資格取得者の更なる増に向けては、

- ① 在学中の学習支援強化を図るとともに、
- ② 卒業後の生活面も含めた挫折者防止のためのフォローが重要。

海技士資格取得までのタイムスケジュールと対策の方向性



海技士資格取得者増に向けた新たな対策（具体策）

在学中対策

R元～
教員1人増

- [① 徹底した少人数教育に加え、
随時補講の強化 (R元～)]
⇒ 適時適切なフォローアップ



- [② 最新のレーダー等機器導入による
教育環境整備]
⇒ 学習理解を促進



卒業後対策

[① 早期離職防止対策]

- ・卒業生に対する随時の相談体制の構築

〔これまででは教員の個人的な関係
で実施〕

- ・就職先の漁業会社との連携

[② 資格取得者up対策]

- ・卒業生に対する学習指導の実施

- ・就職先の漁業会社との間で卒業生のキャリアアップ計画策定

外国人材確保に向けた取組

本県の遠洋漁船では、太平洋島嶼国の船員が貴重な戦力
⇒技術研修により県内漁船への就職を支援

[①ミクロネシア人の漁業技術研修受け入れ]

<研修の概要>

研修生	ミクロネシア人の若者4人
研修期間	平成30年10月30日～11月14日
研修内容	漁具作り、かつお釣り訓練、 ロープワークなど

※研修終了後、漁業会社との面接も実施

<研修生の感想>

- ・すぐに使う技術が学べて良かった
- ・生徒との会話で日本人への理解が進んだ など

昨年度、我が国初実施
→好評により今年度も
継続が決定



写真中央 白い服の4名が研修生

[②太平洋島嶼国在京大使館が視察]

視察日 平成31年3月6日

ミクロネシア以外の国の大使
からも研修への高い関心あり

今後の更なる漁業人材の確保に向けて

漁業人材確保には人材育成に加え、所得向上対策が必要

人材育成

- ・漁業高等学園での教育支援強化
- ・民間漁業会社との連携の強化

漁業所得向上

- ・水産イノベーション対策の創設 (R元～) →人材確保対策も対象
- ・魚価向上のためのIT活用等による流通改革の推進

漁業人材確保

今後も県内の漁業人材確保に向け様々な取組を行ってまいります！